

IS乗ったはいいけど武
装が懐かしいネタな件

宵影

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

癌と戦ってたら免疫が全滅してこの世のありとあらゆる病気にかかって1年耐えたけど無理だったぜ!!

そして死後くらいは平和に過ごしたいと思ってたら語尾に「w」付けて喋るクソな神に勝手に特典与えられて勝手に転生させられたぜ!

メタな話1000文字位で自分がクスツと来るような小説書きたかったんや

目次

プロロオオオオツツグ	1
第!!につつつつわ!!	4
さ→ん←んつ←つわ→!!	7
4わ	12

プロロオオオツツグ

どうしようもないくらいクソな神によってこの世に転生する事はや17年。

女権団体やらISやらと色々あるこの世界でなんとか目をつけられずに過ごしていたものの、案の定ワンサマーがISを起動したせいで各地の適正調査（強制）によってISを起動してしまった俺はどこか分から無い施設へ連れて行かれ、身体を好き勝手に弄られ、開かれ、仕舞いには内臓をいくつか取られるなどと言ったことがあったが、クソが用意した特典のせいで未知の方法で内臓が元の位置に戻るなんて事があり、それを気味悪がった女権団体によって実験台にされるが、これもクソが用意した特典によって耐性を得て、生身の状態で第三世代のISの攻撃を受け止め、それにより一層化け物扱いされ、そんなこんなで1ヶ月以上毒やら致死性の化学物質やらを身体に注射器1本分入れられたりしたが死ぬ事はなく、なんなら何処ぞのSCPの様に硫酸の中に沈められたりしたが意味は無く。

ある日寝て起きたらゴミ山に捨てられていた。

「んーちよつとどういふ状況だこれ」

実はと言うとこの1ヶ月の生活に苦を感じることはなかった。

前世の死に方が死に方のためそこまで苦ではなかったのだ。

たしかに飯は不味いし日に1回しか出ないがそれでも木の根齧って生活してた時に比べればマシだ。

毒や化学物質に至っては抗癌剤キメた時に比べれば楽な物だ、だって即死するから。それでもだ、食うものもない、出口はめっちゃ高いところにあつて時間はかかる、壁には汚つたない油やら見たくも無いモノやらでいっばいだ。

正直この空間解放したら近隣の植物は即枯れることは分かる。

だがまあゴミも使い用によつては価値は変わる。例えばここに捨てられているISコアとかh……

「ISコア!?!」

なんで!?!なんでISコア捨てられてんの!?!

世界に何百個しか無い貴重品が何故ここに!?!

いや待て、もしかしたらISコアに似たただのゴミかもしれない。

そうだ、幸い俺はIS適正がSも有るハイスピのブレオンじゃない限り使いこなせるはずだ、大丈夫、前世でポリ公とパルクールしながらビルの屋上で鬼ごっこができたんだ、余裕余裕。

…

……よし、本物だ、全然良くないけど。

……

(, w, o 「とある女権団体の人」。

(□—□) 〈そう、あれはあの I S を起動させた 2 人目がある場所に放棄してから大体 3 時間位のこと。

(□—□) 〈実は彼処には誰も使えないことでキレた幹部が I S のコアを捨てた場所だね。

(□—□) 〈あれを彼処に放棄した時も幹部は「あんなゴミ使えるわけが無い」とドヤ顔してたわ。

(□—□) 〈どの位使えないかと言うと……そうね、登場者の殆どが植物状態になってたわ、でもあれはどれだけ傷付けても即座に耐性を付けて回復する、その事を私達はすっかり忘れていたわ、まるで最初から知らなかった様なそんな感じだったわ。

(□—□) 〈もしあれと敵対したなら草の根一本残らない位の覚悟をしなければ、あれの異常性は再生能力だけじゃない気がするの。

第!!につつつつわ!!

もしもし? オレオレ、今ドイツ軍人の前で全力疾走してるの。

いや落ちてた I S 使って全身に今まで以上のダメージくらったけど何とか脱出できたぜ。

そしたらドイツ語話す I S 纏ったロリがなんか言ってるのよ? んでも俺日本語以外わからんから無視して移動したらまあ撃つわ撃つわ、あ因みにロリ以外にもなんかキアラが濃そうな人達も一緒だった。多分あのロリが隊長なんだろうな。

まあこの I S 無駄にブースター付いてるから I 発も当たってないんだがな? ちよつと楽しくなってきた。

「ほらどうした!?! 当ててみるよ!」

『貴様ア!』

あれもしかして日本語わかるタイプのロリか此奴。

しかしまあ当たらんもんだな、この暇だしこの I S の武装でも見るか。

武装：トンプアー

ふーむ多様性に溢れた武器だな、殴れば木を倒せるしやや時間がかかるが地面も掘れ

る。

その気になれば火を起こせるし、噂じゃ極めるとミサイルを撃てるって話だ。

……よし撃てるかやってみるか。

とある部隊長（とモブ軍人）

（□ω・、）へあの日私は演習中に緊急招集で呼ばれ、所属不明のISを鹵獲しろと命令を受けた。

（□ω・、）へ映像ではごく普通のIS、第2世代のラファールのようだった、だが実際に交戦してわかったがあれは人が乗っていないものでは無い。

（□ω・、）へ映像では黒のペイントだと思ったものは殆どがブースターだった。

（□ω・、）へ奴はその大量のブースターを巧みに使い我々の攻撃をかくぐり、そのまま作戦領域内を縦横無尽に飛び回りました。

（□ω・、）へただ、奴は私のISの能力を食らったにも関わらず、直ぐに動き出したのです。

（□ω・、）へその後は記録の通りです、突然こちらを向いたかと思いきやその手には凄まじい光を放つ物体を持っていて、それを腰だめに構えたかと思えば、奴の周囲に大

量の幾何学模様が浮かび、そこから一つ一つが異常な威力を持ったミサイルが発射されたのです。

(□ω・) (そのミサイルは異様な追尾性を見せて我々を追いかけて、回避に移った我々の隙を着いて私以外の全員が撃ち落とされました。

(□ω・) (その後やつは私を見て「……似ている」とだけ呟くと私から離れ、手に持った物体、今思えばトンファアの様でした。それを天高く構えると光の柱が立ち、私に向けて振り下ろしました。

(モーブ) (なるほど、では聞きますが、現在我がドイツ軍が全力で奴に戦いを挑んだ場合、勝てると思えますか？

(□ω・) (申し訳ありませんが、おそらく不可能かと、教官が居ればまだチャンスがあると思える……位には奴は戦いに慣れていました。

(モーブ) (わかりました、ああそれと黒ウサギ隊にはIS学園へ行つて貰うことになりました。

(□ω・) (それは……今回の任務で失敗したからでしょうか？

(モーブ) (いえ、上があんな物理法則無視した生命体相手にするより、一人目の男性の方が予算的にも部隊のモチベーション的にも良いと判断したそうです。あと拒否権は無いそうです。

さ→ん←んっ←っわ→!!

よう、俺だ前回ドイツロリから逃げ切ったところだ、全部落とした？

全部殺ればステルスと同じで全部落としてから逃げてもいいのだよ。

ああそれとこのトンファー実はミサイルだけじゃなくてビームサーベル的なものと空間歪めてレポート出来たり、なんならそこら辺に置けばジャーマンスープレックスが出来る。

ああ、あと俺は今どうにかして日本行けないかなと、そこら辺にある無人島とか転々としてるんだ。

そしたら上空をなんか全身装甲のISが西に向かって飛んでくんだよ。

多分厄介事の種なんだろうけど日本行きたいし、なんならリアルワンサマ見てみたい
しで、まあ、着いてくか！

うっはなんだこれ！なんだこれ！此奴クラスター持ちかよ弾幕ゲーで草生えるわ。

なんか回線みたいなの向こうに繋いでも返信来ないし、でも落とすと日本行けないし
でこれどうすりゃいいんだ。

あれなんか遠くからそこそこの速度でなんか来てる……？

うおっあぶね。

なんかISにISが乗ってるんだが、えこれどゆこと？

咄嗟に案内人（IS）盾にしちやっただけどこれ多分俺も敵対してる系？

しかも上の人男じゃん、いや俺も男だけど。

なるほどあれがワンサマか、顔面に女難の相が出まくってやがる。

しかしこいつさつきから接近からの刀みたいなので攻撃しないな、まさかブレオン？

ははは、まっさかあ。

ブリュンヒルデでもないのにブレオンとか産廃かな？

いやでも装甲とか軽量化のために結構削られてる感じするし……低コストの産廃か

……。

ま、それなら多少壊しても問題ないか……？

いやしかし相方の娘すんごい揺れるな。

まずはワンサマ落とすか。動きも単調で対処しやすいし、相方の娘は動きが杜撰で相手する意味なし、あの位なら目つぶってても落とせるな。

ふむ、何度か打ち合った感じワンサマは一撃が軽い癖に離脱が上手い、相方の娘はやや重いが太刀筋が綺麗で読みやすい。

結論：難易度 easy

糞雑魚つすわ何これよく前線来れたな、装備が良ければ雑魚でも出来るゲームじゃ無
いんやぞ……？

まあだからと言つて手加減する訳でもなし。

「welcome fuckin' noob!!」

何よりこつち狙うんだし敵なんよなあ？

作戦報告書（風）

沖合で暴走した軍用のIS『銀の福音』に対し一切攻撃せずに対応する正体不明機に
対し鹵獲作戦が展開された。

正体不明機は『銀の福音』に対し通信を試みている事から、銀の福音を暴走させた犯
人では無いかとの事。

その作戦には織斑一夏と篠ノ之束より専用機を受け取った妹の篠ノ之箒が抜擢され
た。

作戦内容は至ってシンプルで篠ノ之束が制作した第4世代機の『紅椿』に織斑一夏が
乗る『白式』が乗り、超高速での接近、『白式』の固有能力にて一撃で正体不明機を落と
す。

しかし正体不明機は登場者の安全性を無視した動きによって回避、そして近くにいた

『銀の福音』を盾にすることで返す一撃に対処、これにより作戦は失敗に終わる……はずだった。

撤退命令を出されたにも関わらず織斑一夏及び篠ノ之箒は戦闘を続行。

それに対し正体不明機は攻撃をせず回避、または受け流す事で対処、織斑一夏と篠ノ之箒の戦力を測っていると思われる。

戦闘続行から三分後正体不明機は織斑一夏を未知の方法で吹き飛ばし、背後から斬りかかった篠ノ之箒をトンファーを背に回す事で対処、そのまま身体ごと傾ける事で受け流し、そのまま後ろ回し蹴りによって大きく吹き飛ばした。

正体不明機はそのまま乱回転しながら距離を離し、ある程度離れた所で回線オープンにし、織斑一夏と篠ノ之箒に対し「welcome fuckin' noob」と挑発した。

これに対し分かりやすい程激昂した両名は二度目の撤退命令を無視。

よって黒ウサギ隊に両名の強制回収を命じ、即座に出発させた。

また、その際の声はボイスチェンジャーにより変えられており、男性と女性の老人と子供の声が混じった声になっていた。

二度目の撤退命令からおよそ10分、その間も両名の戦闘は続行される物の先程とは違い攻撃を始めた正体不明機により両名のISは破損レベルがCに移行。

これ以上の戦闘は不可能の状態になった所で黒ウサギ隊が到着。

正体不明機は過去に黒ウサギ隊と戦闘をしており、報告ではラウラが搭乗するISのAICによる強制停止が通用しない事から、既存のISとは全く別の方法で飛行、滞空をしているとの事。

黒ウサギ隊が織斑一夏と篠ノ之箒の両名を確保、撤退を開始すると同時に正体不明機は海中へ潜航、瞬く間にレーダーの探知距離から離脱した。

また、その際の速度は水中であるのにも関わらず時速2400kmで移動していた。以上で報告を終了します。

4
わ

煽りながら戦つてたら白ロリ御一行来たから逃げてきたぜ。

いや戦えば勝てるけど正直だるいと言うかそれ以上に日本行きたいと言うか、まあいま現在知らん人の財布スつて得た金で飯食つてるんだが（犯罪）

あと結果的に日本には着いたし、どこか分らんけど。

まあ目的は達したし平和に暮らしたいが、多分戸籍とかもう消えてるだろうし、んなら自宅も既に知らん人住んでんじゃないかな？

いやしかし平和、知らん人の金で飯食つて知らん人の金で銭湯行つてテント張つて寝て（野宿）過ごすだけとか割とマジで平和ボケしそう。

そういうえば時系列とかどうなってるんだろうか、I Sの知識とかアニメちっふの音が想像と違ったせいでそこまで見てなかったし、よくわからんのよな。

まあ少なくとも困ることは無いだろ、日本平和やし、目の前で交通事故起きたけど。

派手に散つたな！

おつとあれは映画でよく見る黒服の人、なんか嫌な予感するからここ離れよ、どこ行こうかな、たこ焼き美味しいところなら尚良いんだがな。

やっべ見つかつたしなんあれ視野広すぎやろ1000m先の視界の隅に写つた俺を見つけるとかISのハイパーセンサーでもついてんのかあの黒服。

しばらく逃げてたらIS飛んできた、女権団体の奴か？口悪いし、装飾過多だし、後びつくりするぐらい弱い。

まあお陰でバレたんだが、何やってんだか俺。

お、富士山だ、あそこ行こー。

まだ追つてきおる彼奴ら、何であんな正確に追つかけられるん？俺最速ぞ？てかなんか違うやつも追つてきよるな、動きが違うし、なんか蜘蛛っぽい？

うーむ、追い込まれたから戦つたけど、ワンサマよかずつと強いな、戦い方が上手い。

フェイントにカウンター、先読みによる置きパライ、後偶にビームが曲がりながら来るから余計面倒。

あ、そこ隙有りな

「トンファアープラストンファアの長い方の先からゲロビ放つだけ、反動は無いけど有る様な振りをするとロマン技っぽくなる」

よし、蜘蛛は飛んだな、後はさつきからちまちま撃つてくる奴を滅つするだけだ。

あれどこだ？射角的にこつちかと思つたんだが……

こつちでもない……

あれ蜘蛛いねえ、回収されたか？

あ、見つけた、待ってー♪（殺意の波動）

ヴァ!?なんあの子めつさビツト撃つてくるやんけ、しかも全部曲がつて来るし、うーむ近付けん、どうしたものか……あつ。

「トンフアーテレポ」

「何!？」

はーい悪い子はどんどんしまつちやおうねえ。

「トンフアー置きっぱなし当身」

やっただぜ